

## 普及活動情勢報告（令和4年6月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 他産地の事例を学ぼう！

### ・・・JAミョウガ部会視察研修・・・



5月19日、管内のミョウガ生産者3名とJA職員1名、農業改良普及課職員2名が農業担い手育成センター、高知市大津のミョウガ生産者、農業技術センターのほ場へ視察調査を行いました。

視察先では、栽培試験の状況や生産者が行っている肥培管理、環境制御の方法について意見交換しました。

農業改良普及課では、今後もJAと連携して視察研修や勉強会を開催することで、生産者の技術向上を支援していきます。

### きれいな出荷場からきれいな野菜を届けよう！ ・・・幡東地域JA出荷場GAP点検・・・



5月10日、JA高知県幡多地区販売課1名、農業改良普及課職員2名が幡東地域の5JA出荷場でGAP点検を実施しました。

各出荷場では、職員により調製エリアや共用スペースの清掃や毎日の点検などが行われていますが、一層の環境を改善に向けて、出荷場担当者と一緒に現場を確認しながら、課題や解決策について話し合いを行いました。

農業改良普及課では今後もJAと協力し、事故発生0を目指した安全・安心な出荷体制の整備を支援します。

### お米の栽培を体感しよう！

### ・・・具同小学校5年生田植え体験・・・



6月6日、四万十市入田の14aの水田で、具同小学校5年生62名が田植えを行いました。

農業改良普及課は、市役所・地元集落営農法人・JAと連携して、10年前から総合授業の一環として水稻の栽培体験を支援しています。

当日は普及課の職員が苗の植え方について説明した後、小学生たちが裸足で水田に入り、慣れない手つきで水稻の苗を植え、子ども達の賑やかな声が響き渡りました。

農業改良普及課では、今後もお米づくりの支援を行い、食農教育を推進します。

ただいま修行中？！

・・・新規就農者の新聞社取材・・・



6月6日、四万十市の研修施設で、研修後、同施設にあるハウスを借りてトマトで新規就農した方への取材が行われました。

この取材は、農業改良普及課が主催した幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会（構成メンバー：管内6市町村及び農業研修施設、JA等）の中で、研修生等の確保に向けて、「研修施設や研修生のPR、新規就農者の紹介を高知新聞に掲載してもらうのはどうか」という意見があり、実現しました。

農業改良普及課では、引き続き、新規就農者の確保に向けたPR活動を行っていきます。

幡多地域での農福連携の事例を知ろう！

・・・幡多地域農福連携協議会・・・



6月9日、黒潮町役場と現地ほ場で、幡多地域農福連携協議会が開催され、福祉関係者22名、農業関係者11名、普及課職員4名が参加しました。

協議会では、黒潮町の施設レモンで実際に取り組まれている事例を作業風景の動画と現地ほ場で紹介しました。

参加者からは、作業にかかる時間や依頼できる時間帯、金銭面での課題など様々な意見が出され、お互いの理解を深めることにつながりました。またアンケート結果からは、農福連携の実現にむけて、多くの課題があることが明らかとなりました。

農業改良普及課では、これらの課題解決にむけて、引き続き活動していきます。

市町村の枠を越えた研修生の受け入れを！ ・・・新規就農者支援ネットワーク協議会を開催・・・



6月3日、幡多農業振興センターで、新規就農者支援ネットワーク協議会が開催され、幡多地域6市町村の新規就農担当者、JA、普及課職員計24名が参加し、担い手の確保等について協議しました。

現在、就農希望者が補助金を活用して研修をするには住居地、研修地、就農地が同一市町村である必要があります。

そこで農業改良普及課は、研修生が補助金を活用でき、かつ広域で受け入れできる仕組みや産地提案書の見直しについて提案しました。その結果、6市町村で市町村の枠を越え、研修生の受け入れが出来るよう、取り組むことになりました。

農業改良普及課では、今後も担い手確保に向けた支援を継続して行います。

イチゴの産地拡大に向けて！

・・・おおきみ部会総会・反省会・・・



6月7日、幡多地区 JA グリーン四万十店で、おおきみ部会の総会及び反省会が開催され、生産者9名、市場関係者、関係機関の計25名が参加しました。

JA・市場関係者からは、'おおきみ'の販売実績について説明があり、農業改良普及課からは、労働力調査の報告と栽培暦を紹介しました。

'おおきみ'は年々栽培面積が増加していますが、需要に対して供給が追いついていません。

農業改良普及課では、今後'おおきみ'栽培のメリットを見える化し、新規生産者の確保に向けて活動していきます。

次作の秀品率UPをめざして！

・・・ハイブリッドスターチス反省会を開催・・・



6月15日、JA 高知県大方南部事業所で、生産者6名、JA職員1名、黒潮町役場職員1名、農業改良普及課職員1名が参加し、令和4園芸年度のハイブリッドスターチス'ブルーファンタジア'の反省会が行われました。

ハイブリッドスターチスは、令和2年から当地区で新規導入しましたが、穂先枯れ（生理障害）の発生や、冬場の抽台本数が少ない等の問題があり、農業改良普及課では対策に取り組んできました。

反省会では、生育調査データや販売結果を報告し、次作の取組について協議しました。

農業改良普及課では、生理障害の発生を抑制する試験を通して、問題解決を目指していきます。